

女性離転職者等キャリア形成支援事業【広島県】

個別事業費	10,670 千円
交付金額	8,002 千円

地域の実情と課題

- ・女性の正規雇用率は、20歳代後半をピークに、その後は右肩下がりでも低下していく、いわゆるL字カーブが課題となっており、女性はライフイベントの関係で離職した後、社会復帰するにあたって、パートタイム労働を選択するケースが多い状況にあるが、コロナ禍において、非正規雇用者は、雇用調整の対象になりやすい等の課題がより浮き彫りになった。
- ・また、多様な人材が活躍できるようにするため、企業は様々な雇用形態に対応できる制度や環境を整備する必要があるが、DXを推進する人材不足が深刻化している。

事業の特徴

- ・再就職を希望する子育て世代や雇用形態及び業種転換を希望する女性に対し、自身のキャリア形成を意識してもらいながら、キャリアチェンジやデジタルスキル習得（リスキリング等）への意識啓発を行い、自律的なスキルアップ、キャリアアップを後押しし、実践を促すことで、希望する労働移動の実現を図った。
- ・県内企業等に対しては、働きたい意欲はあるが家庭等の事情により時間的制約のある女性人材の潜在能力を理解し、継続雇用することで得られるメリット及び事例等を周知することで、意欲ある女性人材の受入れ環境の整備を促した。

事業の効果

- ・ガイダンス参加者約140名、講座参加者約50名、ミートアップイベント後のアンケートでは、86%の女性が働いてみたい企業との出会いがあったと回答した。ミートアップイベントには42社の企業が参加し、就職率は35.7%（令和6年3月末時点）となった。女性、企業共に、前向きな意見が多く、一定の効果があった。

目的・目標

- 【目的】女性と県内企業とのマッチング等を行い、希望する働き方の実現を支援する。
- 【目標】括弧内は実績
 - ・県内企業等と女性等がマッチングした割合20%（35.7%）
 - ・企業向けセミナー等参加者のうち、女性の採用や育成等のために制度構築等に「取り組もう」と回答した割合 70%（73%）

連携団体

- ・「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」
官民が連携して発足した組織である同会議の構成団体として県内全23市町が加入しており、市町主催の未就業女性を主な対象とするセミナーや市町が運営する子育て支援施設等を通じて本事業を広く周知する等の連携をした。

今後の課題

- ・デジタルスキルを身につけ、キャリアアップしたいという希望はあるものの、公的職業訓練等は、訓練時間が長く（500時間程度、6か月間ほぼ毎日受講）、ライフスタイルによって徐々に就業時間・日数を増やし、ステップアップできる働き方を希望するターゲット層には挑戦しにくいものになっているため、時間や場所に制約のある女性が学び直しをする場が必要である。

事業の概要

(1) 女性離転職者向けキャリア形成支援

① ガイダンス及びスタートアップ講座

ア 私らしい人生とキャリアを築く子育て世代の思考整理術

イ 女性のためのSNS活用

② 県内企業等と女性等とのマッチングに向けた準備講座（全5回講座）

③ アドバイザーによる伴走支援

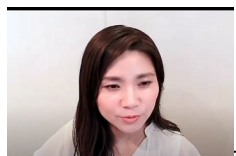
④ SNS広報（県単独事業により実施）

(2) 女性人材の受入れを希望する県内企業向け意識改革セミナー

県内企業の経営者・人事労務担当者等に対し、子育て世代女性等の多様な潜在能力を知ってもらい、企業成長を担うデジタル人材として採用につなげてもらうための意識改革セミナーを実施した。

(3) 女性講座受講生と企業が出会う発表会及びマッチング

(1) ②の女性受講者と県内企業とのマッチングを行うため、女性自己PR等の発表会を実施した。参加企業には女性等の経歴シートを、女性受講者には勤務条件等が記載された参加企業のPRシートを提供した。



SNS活用講座では...

・ブランクや子育ての時間制約があっても、仕事にチャレンジできることを知っていた

・SNSを通して自分がやりたいこと・大切にしたいことを見つめなおして将来仕事に活かせる

・一人ひとりの「仕事と暮らし」を大切にする方法が分かる

↑ガイダンス(オンライン)の様子



↑準備講座の様子



↑企業向けセミナーの様子



↑ミートアップイベントの様子